

放射線科	
診療科目：放射線診断、IVR（Interventional Radiology）、核医学、放射線治療	
診療科担当研修責任者名： 石川 浩志（放射線科診療科長） 診療科連絡先担当者名： 海津 元樹（放射線科エデュケーショナルマネージャー）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：3人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
日本医学放射線学会診断専門医 17人、日本医学放射線学会治療専門医4人、日本核医学学会専門医 5人、日本核医学学会PET核医学認定医 5人、マンモグラフィー読影認定医 9人、日本IVR学会専門医 3人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
日本医学放射線学会認定研修指導者 14人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
県下全域の基幹病院の放射線部門を関連病院とし、新潟県の放射線医療を担う人材を養成している。放射線科は全国的に人手不足に悩まされているが、当科では指導教育を担当するスタッフは、診断、IVR、治療各部門とも充実している。看護師、放射線技師などのco-medical staffも充実し、研修に最適な環境を可能にしている。設備面でも、3T MRI、dual energy CT、PET/CT、高精度放射線照射装置、組織内照射装置など最新の機器をそろえ、放射線診療の基礎から高度先端的な分野まで、研修できる施設となっている。	研修プログラムA（放射線診断）：最低1ヶ月を研修期間として受け入れている。対1の指導によって、頭頸部から胸腹部骨盤四肢まで、全身の三次元的解剖学的知識の形成と病態生理に基づく画像診断(IVRを含む)の基礎の習得を目指す。 研修プログラムB（放射線治療）：最低1ヶ月を研修期間として受け入れている。外来病棟管理、放射線治療計画、放射線治療中の患者診療といった放射線腫瘍学に基づく放射線治療医療の基礎の習得を目指す。 研修プログラムはA、Bいずれかのみもしくは両者の選択を可能とする。よって研修期間は、 A、Bいずれかの場合は1ヶ月、両者の選択の場合は2ヶ月となる。 研修プログラムC：最初の3ヶ月と最後の3ヶ月、当科で研修する、放射線科専門医を希望する人のためのコース。 上記A、Bの内容をさらに徹底させるとともに希望によりCT、エコー、MRI、IVR、神経放射線診断、放射線治療などを個別に深く研修することもできる。